

地域防災力の要として期待

～飯田市消防出初式・第7分団新年式開催～



去る1月12日、飯田市消防出初式（飯田文化会館）及び飯田市消防団第7分団新年式（飯田市竜丘公民館大ホール）が行われました。

先に行われた出初式は、式典終了後、消防団、各地区まちづくり委員会、自主防災会、日赤奉仕団などが市内をパレードし、各地区の安全安心な1年を祈願する行事です。

パレードの後、模擬操法や木遣り、^{きや}纏^{まと}ふりなどの催しも行われました。

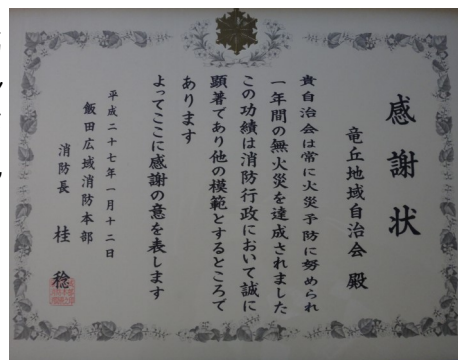
また式典では、竜丘地域自治会が消防長より1年間無火災の感謝が授与され、大変うれしく思います。

竜丘公民館で行われた新年式では出初式で表彰された団員の表彰披露を行いました。この表彰は、団歴に加え実績も加味されていることもあり今後の活躍が期待されます。

私たちは、新しい年を迎え新たな気持ちで地域防災力の要として、より一層の防火・防犯の啓蒙活動、訓練に励んでいきたいと思ひます。

今後ともご理解ご協力のほどよろしくお願い致します。

（飯田市消防団第7分団 分団長 下平 勝哉）



環境委員会の活動

環境委員会では、毎年、春・秋に「竜丘クリーン運動」を行っています。

去る11月に開催した秋のクリーン運動では、駄科区・桐林区の境にある「新川さる橋」周辺でゴミの回収作業を行いました。

60名以上の委員が参加して行われた作業ですが、ロープで引き上げられた「扇風機」「掃除機」「布団」「毛布」など生活ゴミも含め、軽トラック2台分のゴミが回収されました。

不法投棄は、許すことのできない行為です。参加した委員も肩を落としていました。

また、先に策定された「竜丘地区基本構想」における環境分野の取組の一つとして「環境家計簿」の作成に取り組んでいます。

各家庭における毎月の電気・ガス・水道・ガソリン・灯油などを家計簿に記録し、その数値からCO₂（二酸化炭素）の排出量を計算するものになります。

今回、初めて取り組みましたが、環境委員をはじめ、公民館委員等55世帯の協力を得て、4月～9月までの数値を集計し、その成果を文化祭で発表しました。

6ヶ月間ではありましたが、一世帯当たりの排出量（平均）は全国平均と比較すると、ガソリン・灯油の使用率が高く、CO₂の排出量も高くなっていました。

これを機に、何を節約できるのか、引き続き記録していければと考えています。

（環境委員会 副委員長 筒井 みよ子）



竜丘に残る正月の風習 ～ 時又に伝わる「おん火」「松飾り」「かみかんじょう」～

竜丘地区には、正月にまつわる風習がいくつも残っています。

その中から、時又に残る「おん火」「松飾り」「かみかんじょう」をご紹介します。

【おん火】

時又のおん火は、時又港と嶋公園の2ヶ所で行われています。今までは1月7日に行っていましたが、「保護者の皆さんが参加しやすいように」と今年から日曜日（11日）に行うこととなりました。

おん火のいわれは、新年に訪れた年神様がおん火の煙に乗って天上へ帰って行くとされ、その時の炎で焼いた餅を食べると無病息災に、書き初めを燃やすと字が上手になるなど、様々な言い伝えがあり、全国各地で昔から行われている行事です。

時又では、おん火前日に小学生が「カミカンジョ。カミカンジョ。カミガナケレバ、ゼニヲクレ」と言って各家庭を回り、おん火で焼く門松やお札を集め、多少の経費を調達して回ります。点火前には「ほんやりほーほ。餅持って来いよ」と区内を呼んで回ります。

おん火は、小学生やその保護者を中心に、公民館・白寿会・壮年団が応援しています。（時又分館 分館長 伊原 芳久）



【松飾り作り】

12月に入ると、時又壮年団の一大事業である「松飾り作り」が始まります。

30年くらい前に時又地区民から要望を頂き、壮年団の結束力の強化・活動資金作りの為に、現時又区長（木下和彦氏）が創められたと聞いています。

製作期間は、12月第1日曜日から2週間、毎日19時30分から2時間行いました。第3日曜日は朝7時から山へ松を取りに行き、松飾りを完成させた後、区内で注文いただいたお宅（約200戸）へ配達します。

松飾りは、しめ縄・さがり・おやすを作りますが、団員の中には初めて縄を

縛うものもいて、先輩団員が技術の伝承の意味を込め、指導しています。また、製作期間中は、その日の製作終了後に、皆で一杯やりながら親睦を深めています。これからも時又壮年団の事業として、活動を続けていきたいと考えています。

（時又壮年団 安東 雅行）

【かみかんじょう】

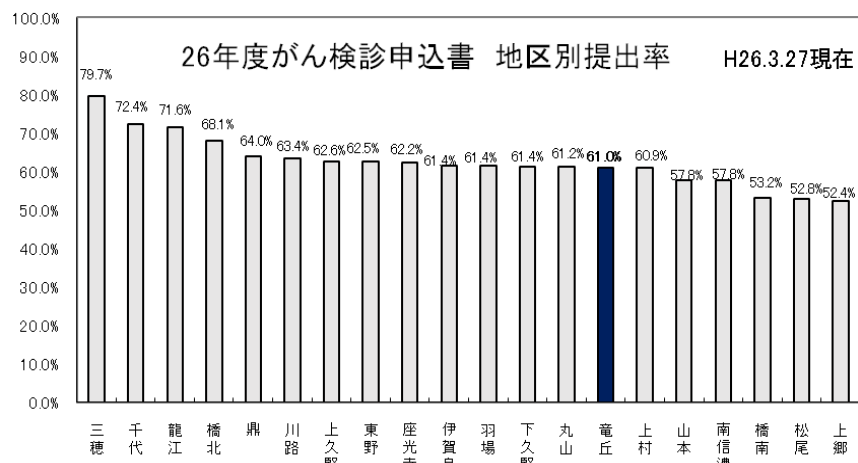
「かみかんじょう」という行事は、子どもたちが大きな幣束を持ち、各家を回り、幣束を振りながら“か～みかんじょう かみかんじょう か～みがなければ ぜにをくれ”とはやし、食べ物やお年玉を頂くものです。

由来は、神勧進 ⇒ 神勧請（神仏の来臨を請う。神仏の分霊を請い迎え入れまつること）となったと言われています。幸の神（道祖神のこと）の勧進とのことで、その道祖神祭と結合したものです。その際に子どもたちが供え物にする餅や銭などをもらい集めたとされています。（新潟・長野・山形の風習）

小正月の火祭行事である“どんど”（呼び名は様々）と結びつき、主に若者や子供の行事となりました。健康を祈り、その火で餅や団子を焼いて食べ、今ではしめ飾りや松飾りを焼いています。

（時又 塚平 正廣さん 資料提供）

家族ぐるみで取り組む「がん」対策 ～がん検診申込書の提出にご協力を～



平成25年度より地域自治会が関わり、がん検診申し込みの回収を行っています。

平成26年度における竜丘地区の提出率は、61.0%で、飯田市（59.9%）内では14番目となりました。

がんの早期発見のために、より多くの方に検診を受けて頂くことが、みなさんの健康につながります。

みなさんのご協力をお願いします。

（福祉健康委員会）